YAMAHA

POCKET RECORDER

POCKETRAK CX

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manual de instrucciones

Manuale di istruzioni

Руководство пользователя

使用说明书

取扱説明書

EN
DE
FR
ES
IT
RU
ZH
JA

ENGLISH
DEUTSCH
FRANÇAIS
ESPAÑOL
ITALIANO
РУССКИЙ
中文
日本語

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

⚠	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「危険」「警告」「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」、「警告」、「注意」に区分して掲載しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が切迫して生じる」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本機について

⚠ 危険

使用時の注意

禁止

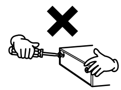
運転中は使用しない。
自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら、本機を操作したり、ヘッドフォンやイヤフォンなどを使用すると、交通事故の原因になります。

⚠ 警告

分解禁止

禁止

本機の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意

禁止

本機の近くに花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

異常に気づいたら

必ず実行

本機を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源を切る。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

(5)-11 1/4

⚠ 注意

設置

必ず実行

本機を移動するときは、必ずUSBケーブルなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

禁止

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本機のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない。
本機が落下して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
本機またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

使用時の注意

禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンやイヤフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止

本機の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本機が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

データのバックアップ

必ず実行

保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはコンピューターなどの外部機器にバックアップされることをおすすめします。

電池について

⚠ 危険

必ず実行

(充)電池の液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに取り出して使用を中止し、火気から遠ざける。
異常状態のまま使用し続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因になります。液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因になります。

エネループ

禁止

充電池はエネループ以外を使用しない。
エネループ以外の充電池や模造品は使用しないでください。エネループ以外を使用すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因になります。

禁止

充電池を変形、分解、改造しない。
変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因になります。

禁止

充電池のプラスとマイナスを針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因になります。

禁止

充電池を火の中に入れたり、加熱したりしない。
絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因になります。

禁止

本機、または指定された充電器以外では充電しない。
他の充電器で充電すると、過大な電流で充電されて電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

禁止

充電池の外装をはがしたり、傷つけたりしない。
外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

必ず実行

充電池を表示どおりに入れる。
極性（プラスとマイナス）に注意し、表示どおりに入れてください。
万一極性を逆に入れた場合、充電時に異常な化学反応が起こったり、使用時に異常な電流が流れたりして、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める。
そのまま続けて充電すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

⚠ 警告

禁止

電池を長時間入れたままにしない。
本機を長時間（1週間程度）使用しないときは電池を取り出して、涼しい場所で保管してください。

アルカリ乾電池

禁止

乾電池を変形、分解、改造しない。
変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因になります。

禁止

乾電池のプラスとマイナスを針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。
また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因になります。

禁止

乾電池を火の中に入れたり、加熱したりしない。
絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因になります。

禁止

乾電池の外装をはがしたり、傷つけたりしない。
外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

必ず実行

乾電池を表示どおりに入れる。
極性（プラスとマイナス）に注意し、表示どおりに入れてください。
万一極性を逆に入れた場合、充電時には異常な化学反応が起こったり、使用時には異常な電流が流れたりして、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因になります。

⚠ 注意

禁止

本機を使用しているときに電池を抜かない。
データが壊れたり、故障の原因になります。

必ず実行

録音するときや、録音内容を消去するときは、電池残量を確認する。
録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったときは、すぐに録音をやめて、充電または新しい電池に交換してください。
消去の途中で電池切れになると、録音内容は消去できません。

電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状が出たときには、医師に相談してください。

充電式電池の廃棄について

エネループ（ニッケル水素電池）はリサイクルシステムが整備されています。寿命がきたり不要になった充電池は、（+）（−）端子部にテープなどを貼って、リサイクルマークのある協力店や特定の回収窓口にある回収 BOX へお入れください。充電式電池の回収やリサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JBRCのホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html をご参照ください。

Ni-MH



- **データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。**
- **不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。**

使用後は、必ず電源を切りましょう。

スイッチ、ボリュームコントロール、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご相談ください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

※ この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標および著作権について

- ヤマハ (株) および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac または Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- エネループ (eneloop) は、三洋電機株式会社の登録商標です。
- microSD ロゴ、および microSDHC ロゴは商標です。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

※ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

目次

マニュアルについて

POCKETRAK CX の操作は、「取扱説明書（本書）」のほかに、「リファレンスマニュアル (PDF)」（ヤマハのホームページに掲載）で説明しています。

取扱説明書（本書）： 安全上のご注意、ご使用前の準備、基本的な操作や設定を説明しています。

リファレンスマニュアル (PDF): 各部の名称と機能、本機をより深くお使いいただくための設定や機能、困ったときの対処方法を説明しています。

リファレンスマニュアルの入手方法

下記のヤマハのホームページ (マニュアルライブラリー) からダウンロードできます。
http://www.yamaha.co.jp/manual/
PDF ファイルをご覧になるには、コンピューターに Adobe Reader(無償) がインストールされている必要があります。お持ちでない方は、Adobe 社のウェブサイト <http://www.adobe.co.jp/> からダウンロードしてください。

はじめに

付属品（お確かめください）

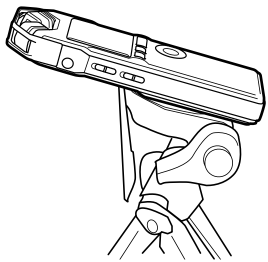
- **単３形エネループ充電池（1）**
- **2GB microSD カード (1)**
- **インナーイヤー型ヘッドフォン (1)**
- **キャリングポーチ (1)**
- **マイクスタンドアダプター (1)**
  マイクスタンドに取り付けるときに使用します。
- **ウインドスクリーン (風防) (1)**
  風切り音などのノイズを低減したいときにマイクにかぶせて使用します。
- **DVD-ROM（1）**
  DAW(Digital Audio Workstation) ソフトウェア「Cubase AI」が入っています。
  209 ページに「同梱ディスクについて」のご案内がありますので、ご使用前にお読みください。
- **USB ケーブル (1)**
- **取扱説明書（本書 : 保証書付き）(1)**

三脚やマイクスタンドに取り付ける

本機の三脚取り付け用の穴を使って、市販のカメラやビデオカメラの三脚を取り付けることができます。また、付属のマイクスタンドアダプターを使えば、マイクスタンドに取り付けることもできます。

Note：

- *三脚取り付け穴のサイズは 1/4 インチ（6.35mm）、アダプターの取り付け穴のサイズは 3/8 インチ (9.525mm) です。*

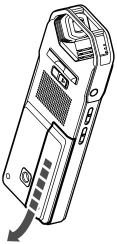


特長

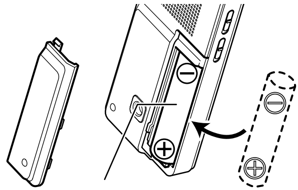
- **高性能 X-Y ステレオマイク搭載**
  自然で高音質なステレオ録音が可能です。
- **録音ピークリミッター**
  過度のマイク入力レベルを自動で調整し、音の歪みを抑えて録音できます。
- **2GB microSD カード付属**
  本機は microSD カード、microSDHC カードに対応しています。

電池を入れる

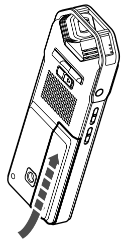
1. 電池ぶたを開けます。



2. エネループ（付属）を入れます。



3. 電池ぶたを閉めます。



Hint：

- *エネループ（充電池）は、充電することでくり返しお使いいただけます。充電方法は 208 ページをご覧ください。*
- *市販の単 3 形アルカリ乾電池を使うこともできます。*
- *アルカリ乾電池を使う場合は、本機の基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[COMMON MENU](共通設定）→ [BATTERY SET](電池の種類) → [ALKALINE](アルカリ乾電池）を選んでからご使用ください。*

⚠

- *電池は、温度が 5 ℃～ 35 ℃の環境でご使用ください。特に、車内には放置しないでください。*

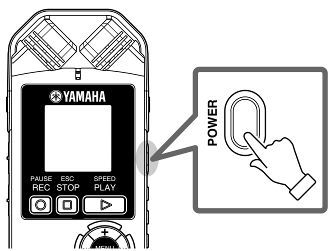
電源を入れる / 切る

電源を入れる

[POWER](電源) ボタンを押します。

電源を切る

停止中、[POWER](電源) ボタンを 2 秒以上押します。



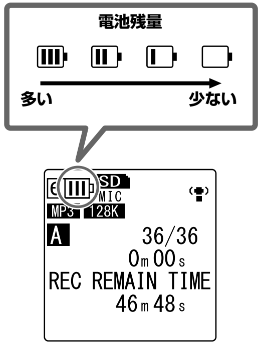
Note：

- *電源が入った状態で約 15 分間放置すると自動的に電源が切れます（AUTO OFF (オートパワーオフ）を「ON」に設定時）（197 ページ）。*

電池の残量を確認する

電池の残量に応じて、右図のように画面が変わります。

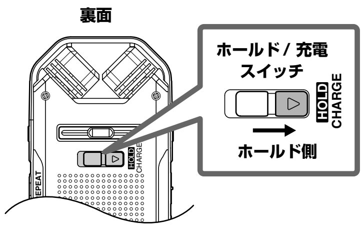
電池残量が少なくなると“LOW BATTERY!”と表示されますので、エネループを充電するか、新しい電池に交換してください。



Hint：
・エネループの充電方法は、208 ページをご覧ください。

誤動作を防止する（ホールド）

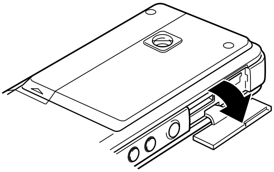
・再生や録音中、[HOLD/CHARGE] スイッチを [HOLD ▷] 側にすると“HOLD ON”（ホールド設定）が表示され、各ボタンが機能しなくなります。
・スイッチを戻すと“HOLD OFF”（ホールド解除）が表示され、解除されます。



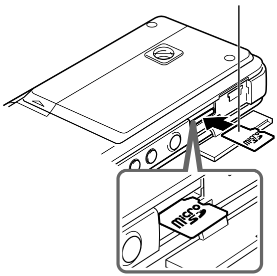
microSD カードを入れる

本機は、録音 / 再生用のメモリーとして microSD カードを使用します。
市販の microSD カードを本機ではじめて使う場合は、フォーマットが必要です (198 ページ)。

1. microSDカードスロットのカバーを開けます。

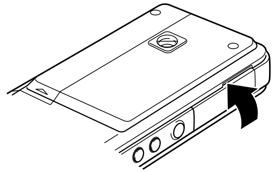


2. 図の向きにカチッという音がするまで、まっすぐに差し込みます。

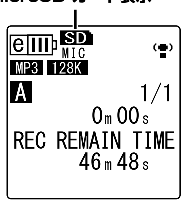


3. 指先でもう一度カチッという音がするまで、軽く押します。

4. microSD カードスロットのカバーを閉じます。



5. 電源をオンにします。
画面に SD が表示されます。



Note：
- *画面に、"NO MEDIA!" と表示された場合は、カードが認識されていませんので、いったんカードを取り出し、再度差し込んでください。*
- *コンピューターなど他の機器でフォーマットした microSD カードは認識しない場合があります。必ず本機でフォーマットしてください (198 ページ)。*

カードを取り出すときは、カバーを開け、カードを軽く押し込みます。カードが少し飛び出しますので、ゆっくりと引き抜いてください。

microSD カードについて

付属のmicroSD カード以外のカードをお使いになる場合は、512MB ～ 2GB の microSD カード、および4GB のmicroSDHC カードをお選びください(2008 年 7 月現在)。ただし、カードの製造元や種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
microSD カードについて詳しくは、下記のヤマハ ホームページでご確認ください。
http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/

ご使用時の注意

- microSD カードを本機に正しく取り付けていないと、録音 / 再生ができません。
- microSD カードの取り付け / 取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと microSD カード、および microSD カードスロットが破損するおそれがあります。
- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。
- 本体の電源を入れたまま microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障や内部データ消失の原因になります。
- microSD カードは、小さなお子様の手に届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがあるので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。

ファイル / フォルダーについて

本機では、1 回の録音単位を「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダー」を呼びます。
「ファイル」は下記のいずれかの「フォルダー」に収容され、本機に挿入されている microSD カードに保存されます。

VOICE (A ～D):
マイク録音用 (フォルダーＡ ～ D に分かれています)

LINE(L):
外部機器からのライン録音用

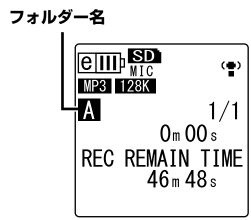
MUSIC(M):
コンピューターから転送した音楽再生用

RECYCLE(🗑):
ごみ箱

ALARM:
アラーム再生用 (本機からは見えません)

DATA:
データ保存用 (本機からは見えません)

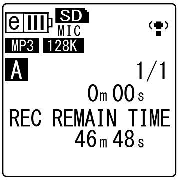
ファイル / フォルダーについて詳しくは、リファレンスマニュアルをご覧ください。



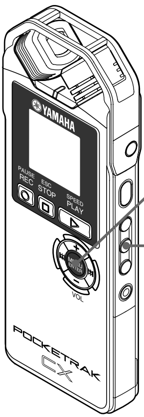
Hint：
- *側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押すたびに、フォルダーが切り換わります。*

画面について

[基本画面]



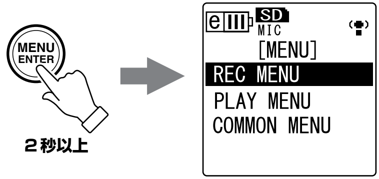
電源をオンにすると表示されます。



Hint：

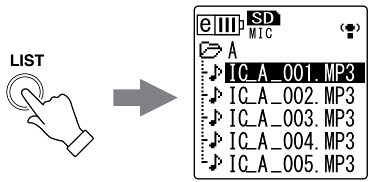
- *基本画面に戻るときは、[STOP/ESC ◻] ボタンを押します。*

[メニュー画面]



基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押すと表示されます。
録音モードの変更、日時の設定、初期化などの各種設定ができます。詳しくは、197 ページをご覧ください。

[リスト表示画面]



基本画面で [LIST/INDEX] ボタンを押すと表示されます。
microSD カードに保存されているファイルをツリー型の一覧で表示できます。詳しい操作方法は、リファレンスマニュアルをご覧ください。

設定メニューについて

設定メニュー一覧

設定メニューは [REC MENU](録音設定)、[PLAY MENU](再生設定)、[COMMON MENU](共通設定) の 3 つの項目に分類されています。

[REC MENU]（録音設定）

[REC MODE]（録音モード）	録音音質を設定します。
[REC LIMITER]（録音ピークリミッター）	録音ピークリミッターのオン / オフを設定します。
[HPF]（ハイパスフィルター）	ハイパス (ローカット) フィルターのオン / オフを設定します。
[STEREO WIDE]（ステレオワイド）	ステレオワイド録音のオン / オフを設定します。
[REC SELECT]（外部録音）	外部入力端子に入力するソースを選択します。
[AUTO DIVIDE]（自動無音分割）	録音中の無音状態が続くと自動的にファイルを分割する設定をします。
[SELF TIMER]（セルフタイマー録音）	セルフタイマー時間を設定します。
[VAS]（VAS 設定）	音声起動録音のオン / オフを設定します。

[PLAY MENU]（再生設定）

[REPEAT]（リピート設定）	リピートモードを設定します。
[PHRASE PLAY]（フレーズ再生）	フレーズ再生 (設定した秒数を戻して再生する) 時間を設定します。
[SKIP PLAY]（スキップ再生）	スキップ再生 (設定した時間をスキップして再生する) 時間を設定します。
[SOUND EQ]（サウンド EQ)	音質補正を設定します。

[COMMON MENU]（共通設定）

[BEEP SOUND]（ビープ音設定）	ビープ音のオン / オフを設定します。
[REC/PLAY LED]（録音 / 再生 LED)	録音 / 再生 LED のオン / オフを設定します
[DATE & TIME]（カレンダー設定）	カレンダー（日付と時刻）を設定します。
[TIMER & ALARM]（タイマー設定）	予約録音、アラームを設定します。
[BATTERY SET]（電池の種類）	エネループ充電池 / アルカリ乾電池 を選択します。
[AUTO OFF]（オートパワーオフ）	オートパワーオフ機能のオン / オフを設定します。

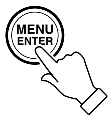
（次ページに続く）

[BACKLIGHT]（バックライト）	画面のバックライトのオン / オフを設定します。
[CONTRAST]（コントラスト）	画面のコントラストを調整します。
[RECYCLE BIN]（ごみ箱）	ごみ箱機能のオン / オフを設定します。
[FORMAT]（フォーマット）	microSD カードを初期化します (全データを消去します)。
[MENU RESET]（メニュー初期化）	メニュー設定を初期化します。
[VERSION]（バージョン）	ファームウェアのバージョン情報を表示します。

メニューの設定方法

ここでは、録音モードをMP3 128kbps に変更する場合を例にして、メニューの設定方法を説明します。

1. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを2 秒以上押します。



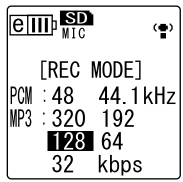
2秒以上

2. [VOL +/－]ボタンを押して[REC MENU]を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



3. [VOL +/－]ボタンを押して[REC MODE](録音モード) を選び、[MENU/ENTER]ボタンを押します。

4. [VOL +/－]ボタンを押して[MP3 128kbps]を選び、[MENU/ENTER]ボタンを押します。



5. [STOP/ESC ◻] ボタンを2 回押します。
基本画面に戻ります。



録音する前の準備

本機では録音モード、ALC(オートレベルコントロール)、マイク感度、ハイパス(ローカット)フィルターなどの機能を設定して、より良い音質で録音できます。ここでは録音モードとALCについて説明します。その他の機能の説明はリファレンスマニュアルをご覧ください。

録音モードについて

本機はMP3形式またはPCM(WAV)形式で録音できます。たとえば、楽器演奏の録音は音質の良いPCM 44.1kHzを、楽器練習や会議の録音はデータ容量を抑えられるMP3 128kbpsを選択するとよいでしょう。

録音モード別の使用例一覧

録音形式	サンプリング周波数、ビットレート	ファイル拡張子	使用例
PCM	48 kHz	.WAV	楽器演奏、レコーディング、CD作成などの原音録音
	44.1 kHz		
MP3	320 kbps	.MP3	楽器練習や会議記録などの容量を抑えた高音質の録音
	192 kbps		
	128 kbps		
	64 kbps		音質より長時間録音が目的の録音 (32kbpsはモノラル録音です)
	32 kbps		

録音可能時間(付属の2GB microSDカードを使った場合)

録音モード	録音可能時間(目安)
PCM 48 kHz	約2時間50分
PCM 44.1 kHz	約3時間5分
MP3 320 kbps	約13時間35分
MP3 192 kbps	約22時間45分
MP3 128 kbps	約34時間5分
MP3 64 kbps	約68時間15分
MP3 32 kbps	約136時間30分

* 録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間はこれより小さくなります。
* 2GB以上のmicroSDカードをお使いの場合でも、1ファイルあたりの最長録音時間(連続録音時)は上記2GB相当の録音可能時間までです。

録音時の電池持続時間（付属の 2GB microSD カードを使った場合）

エネループ充電池		アルカリ電池	
PCM 44.1kHz, 16bit	約 21 時間 30 分	PCM 44.1kHz, 16bit	約 22 時間
MP3 64kbps	約 44 時間	MP3 64kbps	約 54 時間

＊ 上記はいずれも録音 / 再生 LED オフ、バックライト オフ、録音モニターなし、ALC ON 時の場合です。

＊ 電池持続時間は、電池や microSD カードの種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。エネループ充電池もしくはアルカリ乾電池以外での動作は保証いたしません。

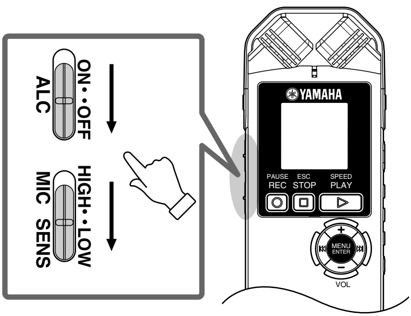
ALC(オートレベルコントロール) について

ALC は音量に応じて自動的に録音レベルを調整することで、音量を一定に近づけて録音する機能です。

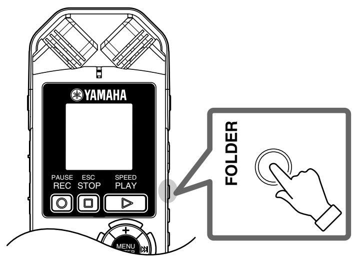
	ALC OFF（オフ）	ALC ON（オン）
特長	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音ができます。	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく調整されます。音割れやゆがみを抑え、聞き取りに適した音声録音ができます。
主な使用場面	楽器演奏、自然の音などの録音	楽器練習、会議、インタビューなどの録音

楽器演奏を録音する

録音を開始する前に、[ALC] スイッチを [OFF](オフ）に、[MIC SENS] (マイク感度) スイッチを [LOW](低）に切り換えておきます。



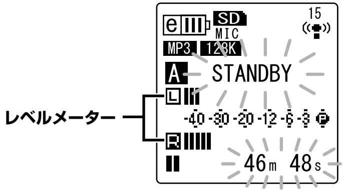
1. 側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、録音するフォルダーを選びます。



Hint：

・ *[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押すたびに、フォルダーが切り換わります。ここでは、A ～ D のフォルダーから選択してください。*

2. [REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。
「STANDBY」（録音スタンバイ）状態になります。（この状態では録音はまだ始まっていません。）



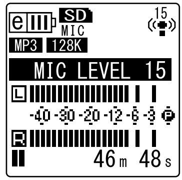
Note：
・マイクに入る音の大きさに応じて、レベルメーターが左右に振れます。

3. [|◀◀] [▶▶|] ボタンを押して、MIC LEVEL（録音レベル）を調整します。
実際に録音する音を鳴らしながら、録音レベルを調整してください。

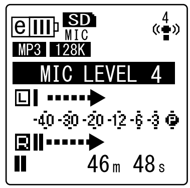
Hint：
- ***録音ピークリミッターの設定***
録音ピークリミッターをONに設定することにより、過大入力時の音の歪を抑えることができます。通常はONに設定して録音することをおすすめします。
ONに設定するには、基本画面で[MENU/ENTER]を2秒以上押し、[REC MENU] → [REC LIMITER] → [ON] を選択してください。
録音ピークリミッターは、ALCがOFFに設定されているときのみ機能します。

録音レベルの調整のしかた

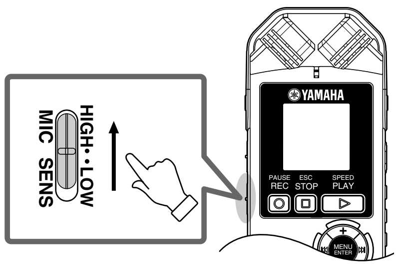
- **適切な録音レベル**
録音する音が最も大きくなるときに、レベルメーターが右に振り切れない（録音中にLEDが消灯しない）範囲でできるだけ大きなレベルに調整します。



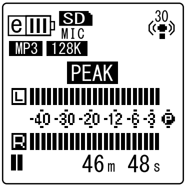
- **録音レベルが小さすぎる場合**
[▶▶|] ボタンを押して、レベルメーターが右に振れるように調整してください。



Note：
・録音レベルを40まで上げても適切な録音レベルにならない場合は、[MIC SENS]（マイク感度）スイッチを[HIGH]（高）に切り換えてください。

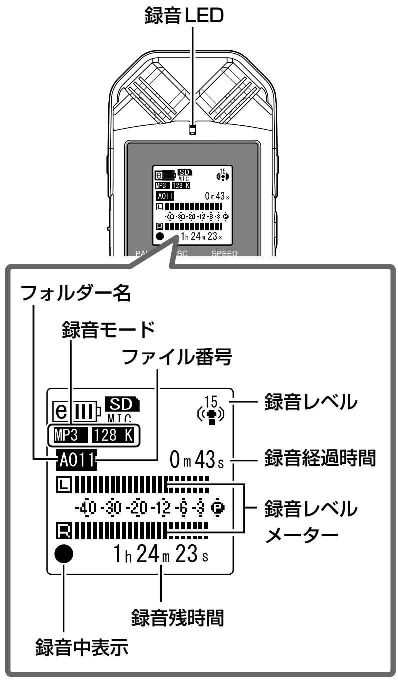


- **録音レベルが大きすぎる場合**
  レベルメーターが右いっぱいに振れ、録音中に LED が消灯し、PEAK が表示されます。
  [|◀◀] ボタンを押して、録音レベルを下げてください。



4. もう一度 [REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。
LED(赤）が点灯し、録音が始まります。

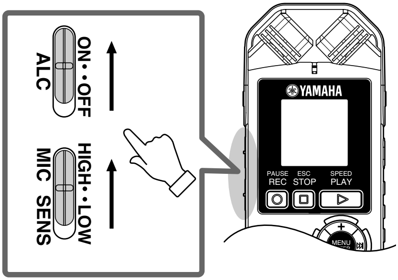
- **録音中の表示**



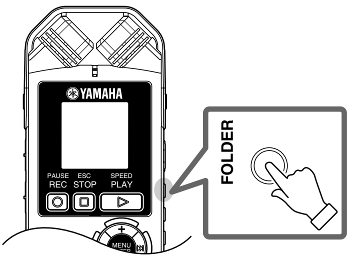
5. [STOP/ESC ◻] ボタンを押して、録音を停止します。
LED が消灯し、画面に REC REMAIN TIME(録音残時間) が表示されます。

簡単に録音する（楽器練習、 会議など）

録音を開始する前に、[ALC] スイッチを [ON] (オン）に、[MIC SENS](マイク感度) スイッチを [HIGH](高）に切り換えておきます。



1. 側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、録音するフォルダーを選びます。



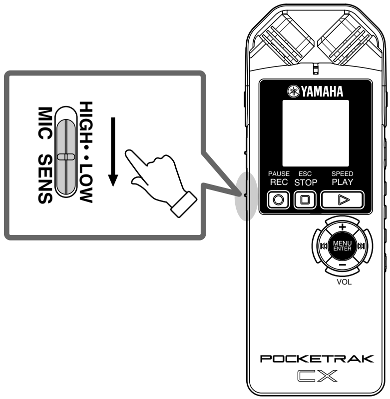
Hint：

・ *[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押すたびに、フォルダーが切り換わります。ここでは、A ～ D のフォルダーから選択してください。*

2. [REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。
LED(赤）が点灯し、録音が始まります。

Hint：

・ *録音レベルが大きすぎる場合は (202 ページ)、[MIC SENS](マイク感度）スイッチを [LOW]（低）に切り換えてください。*

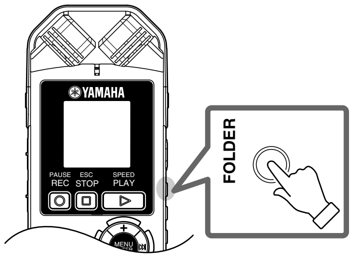


3. [STOP/ESC ◻] ボタンを押して、録音を停止します。
LED が消灯し、画面に REC REMAIN TIME(録音残時間) が表示されます。

再生する

本機では、MP3 形式、WMA 形式および本機で録音した WAV 形式のファイルを再生できます。本機で録音したファイルを再生する場合は、VOICE(A ～ D) または LINE(L) フォルダーを選択してください。コンピューターから取り込んだファイルを再生する場合は、MUSIC(M) フォルダーを選択してください。

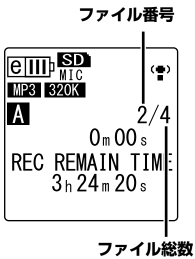
1. 基本画面で側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、再生するフォルダーを選びます。



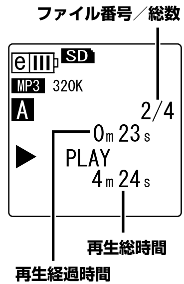
Hint：

・ *[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押すたびに、フォルダーが切り換わります。*

2. [|◀◀] [▶▶|] ボタンを押して、再生したいファイル番号を選びます。



3. [PLAY/SPEED ▷] ボタンを押します。
LED（緑）が点灯し、再生が始まります。



4. [VOL +/−]ボタンを押して、適切な音量で再生されるように調整します。
音量は 21 段階 (0 ～ 20) で表示されます。

5. [STOP/ESC □] ボタンを押して、再生を停止します。
もう一度 [PLAY/SPEED ▷] ボタンを押すと、停止した位置から再生が始まります。

Hint：

・ *リスト表示画面から各フォルダーのファイルを再生することもできます（196 ページ）。*

コンピューターに音声ファイルを取り込む

本機とコンピューターを USB ケーブル (付属) で接続することで、microSD カードに保存された音声ファイルをコンピューターに取り込むことができます。取り込んだファイルは Windows Media Player や iTunes などを使って再生したり、付属の DAW ソフトウェア「Cubase AI」を使って編集したりすることができます。また、コンピューターの中にある音声ファイルを本機に転送し再生することもできます。

コンピューターの動作環境

Windows

コンピューター本体：USB 端子を標準装備した Windows 対応コンピューター

対応 OS：Windows Vista, XP Professional/Home Edition

Macintosh

コンピューター本体：USB 端子を標準装備した Macintosh コンピューター

対応 OS：Mac OS X 10.4, 10.5

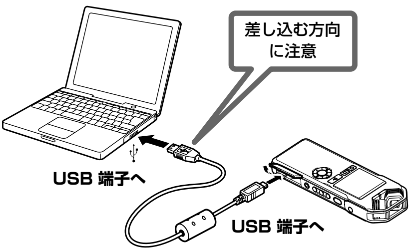
Note：

・*最新の動作環境については、下記の URL をご参照ください。*
http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/

コンピューターに接続する

1. コンピューターを起動します。

2. 本機の電源がオフになっていることを確認し、付属の USB ケーブルで接続します。

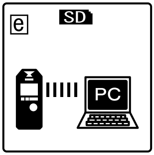


必ず実行

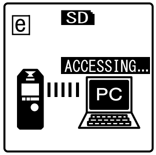
USB ケーブルは、必ず付属のものを使用してください。異なるケーブルを使用すると、端子の破損や故障につながるおそれがあります。

コンピューターに認識されると、本機の画面には以下が表示されます。

接続時



通信時



コンピューターに何も表示されない場合や、本機に上記の画面が表示されない場合は、以下の手順で確認を行なってください。

- 起動中のアプリケーションはすべて終了させる。
- 接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウスやキーボードは除く）はすべて取り外して、本機だけを接続する。
- コンピューターに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に本機を接続する。
- バスパワー型 USB ハブを介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してコンピューターの USB 端子に直接付属のUSB ケーブルを使用して本機を接続する。

USB 端子ご使用時の注意

USB 端子とコンピューターを接続するときは、以下のことを行なってください。
以下のことを行なわないと、コンピューターや本機が停止 (ハングアップ) して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本機が停止したときは、Windows Media Player などのアプリケーションやコンピューターを再起動してください。

必ず実行

- **データの転送中は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。**
- **USB 端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力 (サスペンド / スリープ / スタンバイ / 休止) モードを解除してください。**
- **USB ケーブルの抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了させてください。**

Note：
・お使いのOSにより画面、メニュー名、ボタン名などが異なる場合があります(本書ではWindows OSにWindows XPを使用しています)。

音声ファイルを取り込む

Windows:

1. 本機をコンピューターに接続します。
2. [スタート]メニューから[マイ コンピュータ]を開きます。
3. [リムーバブル ディスク]をダブルクリックして開きます。
4. [VOICE] フォルダーをダブルクリックして開きます。
5. コンピューターに取り込みたいファイルが入っているフォルダー（A 〜 D）をダブルクリックして開きます。
6. ファイルをコンピューターの任意の場所にコピーします。

Macintosh:

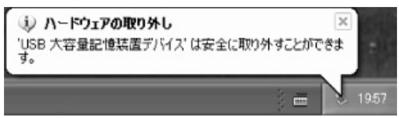
1. 本機をコンピューターに接続します。
2. デスクトップに表示される本機のドライブアイコン（NO NAME）をダブルクリックして開きます。
3. [VOICE] フォルダーをダブルクリックして開きます。
4. コンピューターに取り込みたいファイルが入っているフォルダー（A 〜 D）をダブルクリックして開きます。
5. ファイルをコンピューターの任意の場所にコピーします。

Hint：
・フォルダーについて詳しくは、195ページをご覧ください。

コンピューターから取り外す

Windows:

1. 画面右下のタスクバーの  をクリックし、[USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します]をクリックします。
2. 右のメッセージが表示されたら、USBケーブルを取り外します。



Macintosh:

1. デスクトップに表示されている本機のドライブアイコン（NO NAME）を、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動します。
2. デスクトップから本機のドライブアイコン（NO NAME）が消えたら、USBケーブルを取り外します。

エネループを充電する



・ 周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の環境で充電してください。
・ 充電中は電池ぶたを必ず閉めてください。

1. 本機にエネループ充電池が入っていることを確認します。



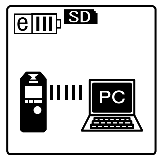
アルカリ電池などを入れたまま充電すると、液漏れや本機の故障の原因になります。

2. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、「COMMON MENU」(共通設定) → [BATTERY SET](電池の種類) で [eneloop](エネループ) が選択されていることを確認します。

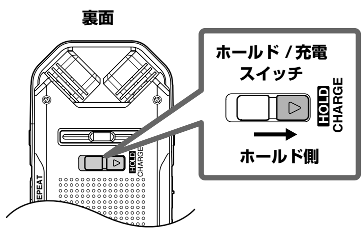


3. 本機をコンピューターに接続します（205 ページ)。

4. 本機の画面がコンピューター接続中の表示になったことを確認し、[HOLD/CHARGE] スイッチを [HOLD ▷] 側にします。
LED が緑色に点灯し、充電が始まります。
途中で充電を止めるときは、[HOLD/CHARGE] スイッチを [HOLD ▷] と反対側に戻してください。
充電が完了すると、LED が消灯します。



Note：
・使い切ったエネループ充電池は約 220 分で充電が完了します。
・データ転送中でも充電できますが、充電完了後の使用時間が短くなることがあります。



5. 本機をコンピューターから取り外します。

同梱ディスクについて

ご注意

- 付属のソフトウェアの著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH 社が所有します。
- 以下に付属のソフトウェアのご使用条件が記載されています。付属のソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、付属のソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 付属のソフトウェアのディスクは、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ・ビジュアル用の CD/DVD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- 付属のソフトウェアおよび動作環境については、下記の URL に最新情報が掲載されています。
  http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/
- ヤマハ株式会社では、付属のソフトウェアについてのサポートは、一切行っておりません。

付属 DAW ソフトウェアについて

同梱のディスクには付属 DAW ソフトウェアが入っています (Windows/Macintosh)。

Note：

- *付属 DAW ソフトウェアをインストールするときは、管理者権限のあるアカウントで行なってください。*
- *付属の DAW ソフトウェアを継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で付属のソフトウェアを起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。*
- *Macintosh の場合は、「.mpkg (拡張子)」のアイコンをダブルクリックしてインストールします。*
- *本機のファイルを付属 DAW ソフトウェアに取り込む方法については、リファレンスマニュアルをご覧ください。*

最新の動作環境については、下記の URL をご参照ください。

http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/smtg/

サポートについて

付属 DAW ソフトウェアについては、Steinberg 社のホームページをご覧ください。Steinberg 社のホームページでは、製品に関するサポート情報や最新のアップデータのダウンロード、FAQ などを下記 URL にて公開しております。
http://www.steinberg.net/home_japan.html

付属 DAW ソフトウェアの [ヘルプ] メニューから Steinberg 社のホームページにアクセスできます。
(ヘルプメニューには付属 DAW ソフトウェアの PDF マニュアルや追加情報なども掲載されています。)

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。
本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

このソフトウェア使用許諾契約は、本製品に同梱している、スタインバーグ社の付属 DAW ソフトウェアに関して、お客様のご使用条件を規定するものです。付属 DAW ソフトウェアをインストールする過程で「スタインバーグ･エンドユーザー･ライセンス契約書」が表示されますが、その契約書は、このソフトウェア使用許諾契約に置き換えられるために、意味のないものです。インストールする際には、その「スタインバーグ･エンドユーザー･ライセンス契約書」を無視して「同意します」を一律選択し「次へ」をクリックして、次頁 (ユーザー登録) に進んでください。

ソフトウェア使用許諾契約

1．著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル (以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権はスタインバーグ社 (ドイツ) にあり、弊社は同社からお客様に使用許諾するためのサブライセンス権を得ています。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、製品本体を第三者に譲渡する場合に限り、付属品である本ソフトウェアを使用する権利を、同じ第三者に譲渡することができます。ただし、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用 MIDI データ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に 1 つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、弊社は、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から 14 日間に限り (お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします) 、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

5. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。
本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。
弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。
本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

8. インストール時に表示される契約書

本ソフトウェアをインストールする過程で表示される「スタインバーグ･エンドユーザー･ライセンス契約書」は、このソフトウェア使用許諾契約に置き換えられるために、意味のないものです。

ユーザーサポートサービスのご案内

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。
ユーザー登録手続きは、下記ヤマハホームページよりお願いします。

ヤマハホームページ
http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/

* ユーザー登録には、電池を入れるところの内側に貼ってあるラベルに書かれたシリアル番号（SER No.) が必要になります。

住所 / 氏名 / メールアドレスの変更 (同一使用者の範囲内)

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」などを変更された場合は、上記ヤマハホームページよりお手続きください。

質問の受付

ヤマハデジタル製品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。
しかし、一部高機能デジタル製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。
実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。
そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではデジタルインフォメーションセンターを開設いたしております。
お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。
お問い合わせの際には、「製品名」、「シリアル番号 (SER No.)」をお知らせください。

デジタルインフォメーションセンター

TEL： 053-460-1666
受付日： 月曜日～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間： 10:00 ～ 18:00 (土曜日は 10:00 ～ 17:00)
http://www.yamaha.co.jp/support/

付属 DAW ソフトウェア(DVD-ROM) については、Steinberg 社のホームページをご覧ください。Steinberg 社のホームページでは、製品に関するサポート情報や、最新のアップデータのダウンロード、FAQ などを下記 URL にて公開しております。

http://www.steinberg.net/jp/

付属 DAW ソフトウェアの[ヘルプ] メニューからSteinberg 社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには、付属 DAW ソフトウェアの PDF マニュアルや追加情報なども掲載されています。)

・ **営業窓口**

国内営業本部　LM営業部 企画推進室
〒 108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL. (03) 5488-5430

PA · DMI 事業部 MP 推進部 マーケティンググループ
〒 430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1 TEL. (053) 460-2432

ヤマハデジタル楽器· DTM 製品ホームページ
http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/

ヤマハマニュアルライブラリー
http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

あなたの音楽生活をフルサポート　ミュージックイークラブ
http://www.music-eclub.com/

お客様サポート & サービス
http://www.yamaha.co.jp/support/

* 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

サービスについて

■保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

●保証書

保証書は本書に掲載されています。

●保証期間

お買い上げ日から１年間です。ヘッドフォンは６ヵ月です。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

コントロール、スイッチ、ランプ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後８年です。

●持込み修理のお願い

まずリファレンスマニュアルの「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間　月曜日～金曜日 9:00 ～ 18:00、土曜日 9:00 ～ 17:00
（祝祭日および弊社休業日を除く）

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-012-808**
※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(IP 電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL　053-460-4830)
FAX　053-463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間　月曜日～金曜日 9:00 ～ 17:45（浜松サービスステーションは 8:45 ～ 17:30）
（祝祭日および弊社休業日を除く）

* お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50 ヤマハセンター内 FAX 011-512-6109
首都圏サービスセンター	〒 143-0006	東京都大田区平和島 2 丁目 1-1 京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F FAX 03-5762-2125
浜松サービスステーション	〒 435-0016	浜松市東区和田町 200 ヤマハ (株) 和田工場内 FAX 053-462-9244
名古屋サービスセンター	〒 454-0058	名古屋市中川区玉川町 2 丁目 1-2 ヤマハ (株) 名古屋倉庫 3F FAX 052-652-0043
大阪サービスセンター	〒 564-0052	吹田市広芝町 10-28 オーク江坂ビルディング 2F FAX 06-6330-5535
九州サービスステーション	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2 丁目 11-4 FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

持込修理

保　証　書

品　　名	POCKET RECORDER
品　　番	POCKETRAK CX
※シリアル番号	
保証期間	お買い上げの日から１年間 ヘッドフォンは6ヵ月
※お買上げ日	年　　月　　日
お　客　様	ご住所 お名前　　　　　　　　様 電　話　　　（　　）

ご販売店様へ　※印欄は必ずご記入してお渡しください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
（詳細は下項をご覧ください）

※販売店		
	店　名	印
	所在地	
	電　話	（　　）

ヤマハ株式会社 PA・DMI事業部
〒430-8650　静岡県浜松市中区中沢町10番1号
TEL 053-460-2432

無償修理規定

1. 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。

2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。

3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、最寄りの※ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問合わせください。

4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。

（1） 本書のご提示がない場合。

（2） 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。

（3） 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。

（4） お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。

（5） 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。

（6） お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

＊ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問合わせください。

＊ ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。